

「技術委員会・第23回報告会」のご案内

主催：(一社)日本建築構造技術者協会
技術委員会

技術委員会では、毎年各部会の活動の成果がまとまった段階で技術報告会を開催しております。本年度は、6月に応答制御設計部会から「極大地震に対する鋼構造建築物の設計例」、基礎地盤系部会から「設計者のためのハンドブック」と2つの部会から報告しました。今回は、性能設計部会から「風揺れと床振動」、RC系部会から「構造スリット、梁貫通孔補強およびPCアンボンドスラブ」、金属系部会から「鉄骨造建築物の設計における鋼・構造材ハンドブック」と3つの部会から報告させていただきます。報告会は、現状の各部会の活動報告の場であるとともに、現在の活動に対して意見交換をする場としており、今後の活動に皆様の意見を反映させて技術委員会の活性化を図れるものと考えています。

多数の参加をお待ちしています。

記

■性能設計部会

テーマ：「風揺れと床振動」

講演者：主査 貞許美和、他

概要：性能設計部会では、これまで耐震性能に関するクライアントとのコミュニケーションの一助となる性能設計の考え方を整理してきました。その後、地震による外乱だけでなく、風や歩行振動に対する居住性に関して、風揺れWGと床振動WGを立ち上げ、性能設計について議論を進めています。本報告会では、各WGから、風揺れと床振動に関する評価の参考となる設計のポイントをまとめた資料を、活動内容としてご報告いたします。

■RC系部会

テーマ：「構造スリット、梁貫通孔補強、およびPCアンボンドスラブ」

講演者：主査 迫田丈志、他

概要：RC系部会には、RC分科会とPC分科会が設置されています。それぞれの主な活動内容は、RC分科会としては、RC造配筋標準図の日建連との共同作成や、構造スリットに関する構造設計の実務の整理、梁貫通孔補強の設計等についての検討です。PC分科会は、長期たわみに関する考察や2次部材に対するPCの使用方法等について議論しています。本報告会では、このうちRC分科会からRC造の構造スリットと梁貫通孔補強について、PC分科会からPCアンボンドスラブに関する考察についての活動内容を報告します。

■金属系部会

テーマ：「鉄骨造建築物の設計における鋼・構造材ハンドブック」

講演者：主査 小岩和彦、他

概要：設計の高度化・効率化をはかるべく、2011年に「鉄骨造建築物の設計における鋼・構造材ハンドブック」（初版）を発表しました。その後、新たな技術開発、製造メーカーおよび規格の変更に加え、カーボンニュートラルに関する社会的要請が変化してきたことなどから現在改定作業を行ってきました。本報告会では、このうち「鋼材（溶接材料、電炉材を含む）」、「角形・円形鋼管およびロールH形鋼」、「さび止め材料」、「カーボンニュートラル」を取り上げ報告いたします。

日時：2025年3月13日（木） 14:00～17:20

会場：けんぽプラザ（東京都渋谷区千駄ヶ谷2-37-9）およびオンライン（Zoomウェビナー）

参加費：会員1,000円、非会員2,000円

定員：会場30名、オンライン400名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

申込締切：2025年3月7日（金）

構造士更新：JSCA建築構造士登録更新のための評価点申請中

CPD制度：建築CPD情報提供制度対象講習会申請中

オンライン参加の場合、それぞれ所定の時間を聴講したとみなされた参加者が対象となります。確実に付与されるよう参加者自身でネット環境の事前確認を十分に、当日は余裕をもってアクセスし、切断等の障害が発生しないようにして下さい。

申込方法：デジタルチケット購入形式

ご自身の申込区分を確認の上、以下URLから、該当する参加費分のデジタルチケットを購入して下さい。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02epei9w0q941.html>